

2020年度 県立高等学校における学科改編等について

◆ 学科改編等の内容

① 単位制の導入

八百津高等学校

全日制課程 普通科 → 単位制による全日制課程 普通科

<学科改編の目的・方向性>

- 生徒の進路希望に即した多様な教育課程を可能とする。
- デュアルシステムを継続するとともに、人道教育や防災リーダー養成などを行う地域研究、郷土研究に関する科目開設など、学校の特色がより明確となる教育課程を検討する。

瑞浪高等学校

全日制課程 普通科 → 単位制による全日制課程 普通科
全日制課程 生活産業科 → 単位制による全日制課程 生活産業科
(生活福祉科) (生活福祉科)

<学科改編の目的・方向性>

- 生徒の進路希望に即した多様な教育課程を可能とする。
- 現在、実施している進路別教育課程に専門科目や学校設定科目を設置したり、他学科の開設科目を選択できるようにするなど、多様な科目選択を可能とする仕組みについて検討する。

恵那高等学校

全日制課程 普通科 → 単位制による全日制課程 普通科
全日制課程 理数科 → 単位制による全日制課程 理数科

<学科改編の目的・方向性>

- 生徒のより高い進学希望に即した教育課程を可能とする。
- 地域の理解を深める科目や、実技を伴う教科の教員志望者に対応できる科目設置、普通科、理数科の枠を超えて一緒に履修する科目設置などを検討する。

② 専門学科の改編

大垣養老高等学校
農業科

○学科の再編

3学科 → 2学科群 4学科

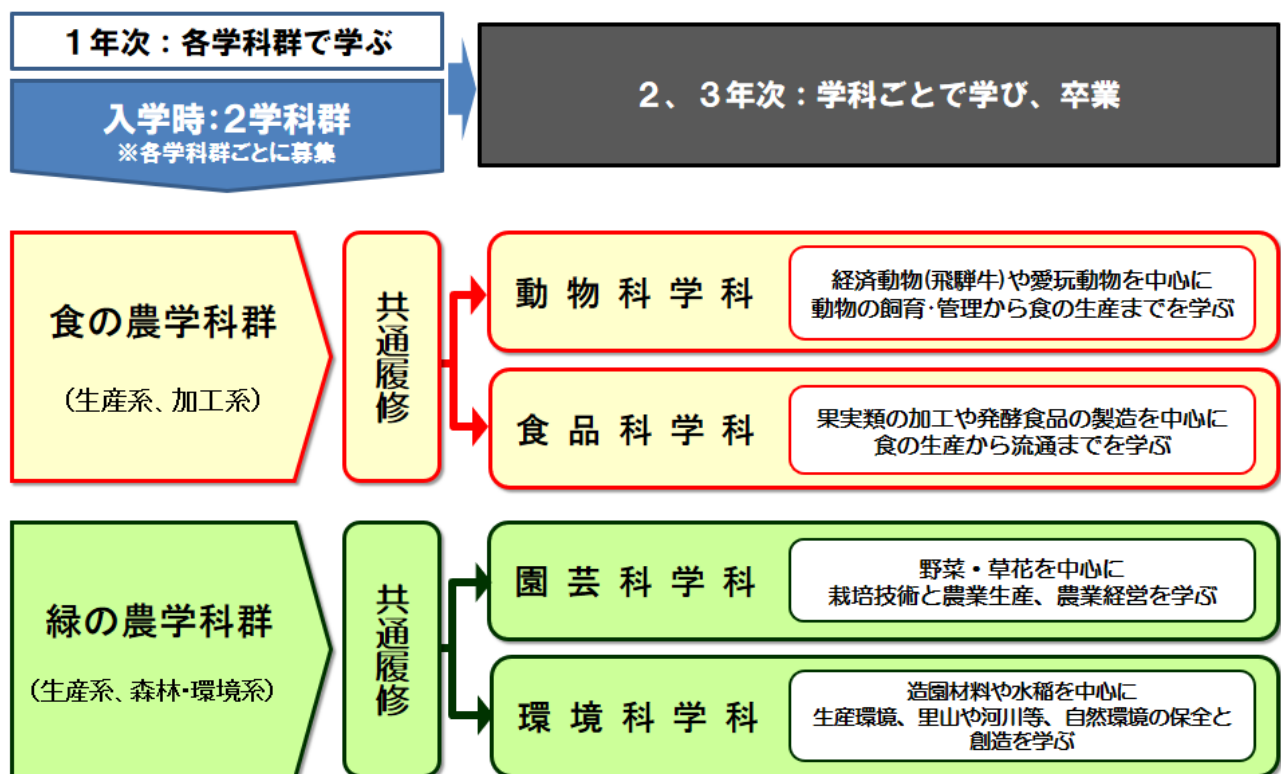
○学科群での募集

食の農学科群（生産系、加工系）、緑の農学科群（生産系、森林・環境系）

現在の農業科の学科編成

生産系 生産科学科 加工系 食品科学科 森林・環境系 環境園芸科

学科改編（農業科）



<学科改編の目的・方向性>

- 学びの領域と学習内容とのずれを解消し、地方産業教育審議会の答申による「学びの3領域」に基づく学科構成とする。
- 入学時は2学科群（食の農学科群、緑の農学科群）ごとの募集とし、学びを維持しつつ少子化に対応するとともに、適性に応じた学科選択を可能とする。
- 全県における学科群名称、小学科名称を統一する。

※ 学校全体の学科構成 農業科、総合学科

大垣工業高等学校

○学科の再編

7学科 → 3学科群 7学科+1学科

○学科群(+1学科)での募集

機械工学科群、電気・電子工学科群、建設工学科群、化学技術工学科

現在の工業科の学科編成

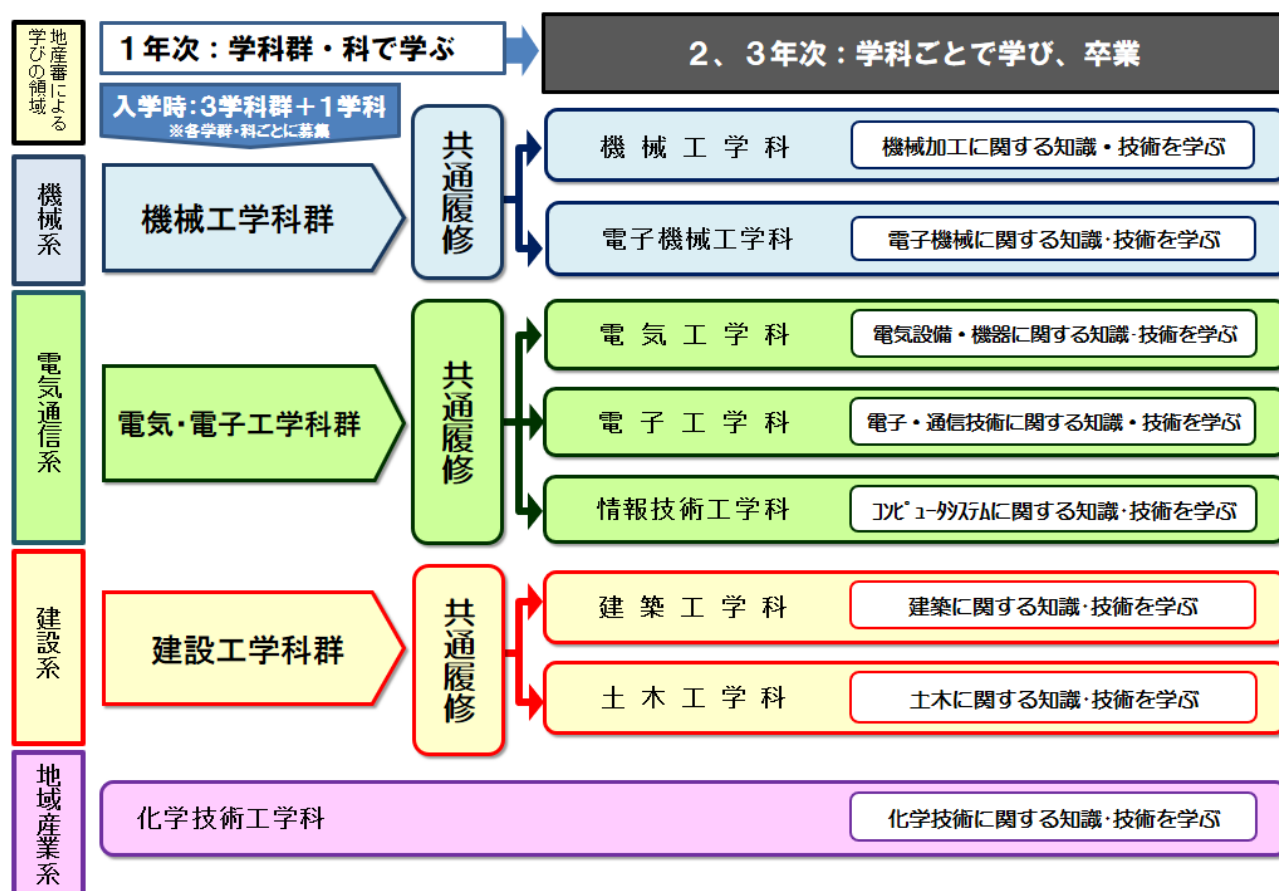
機械系 機械科、電子機械科

電気通信系 電気科、電子科、情報技術科

建設系 建設工学科

地域産業系 化学技術科

学科改編(工業科)



<学科改編の目的・方向性>

- 地方産業教育審議会の答申による「学びの4領域」をもとに再編成し、既存の7学科を8学科とする。
- 入学時は3学科群（機械工学科群、電気・電子工学科群、建設工学科群）+1学科での募集とし、学びを維持しつつ少子化に対応するとともに、適性に応じた学科選択を可能とする。
- 全県における学科群名称、小学科名称を統一する。

※ 学校全体の学科構成 工業科

飛騨高山高等学校
農業科

○学科の再編

3学科 → 2学科群 4学科

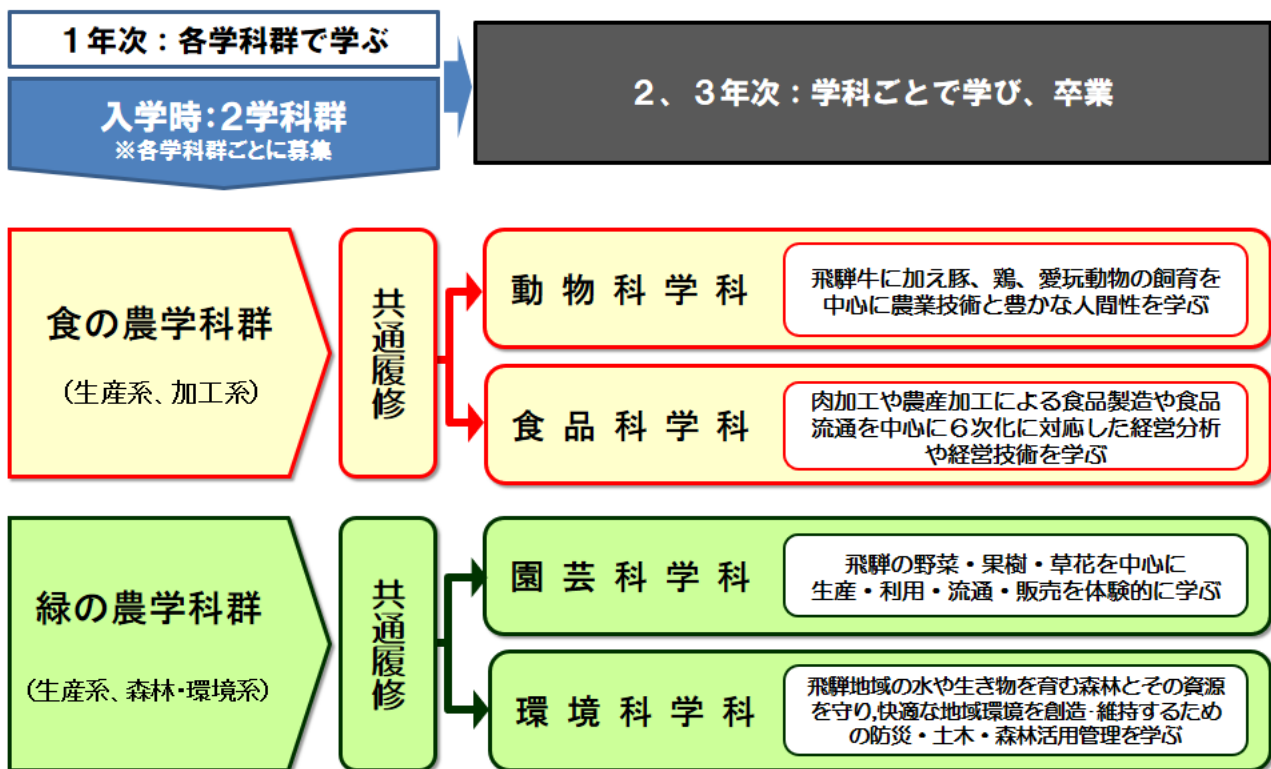
○学科群での募集

食の農学科群（生産系、加工系）、緑の農学科群（生産系、森林・環境系）

現在の農業科の学科編成

生産系 生物生産科、園芸科学科 加工系 なし 森林・環境系 環境科学科

学科改編（農業科）



<学科改編の目的・方向性>

- 学びの偏り（加工系分野の学科が未設置）を解消し、地方産業教育審議会の答申による「学びの3領域」に基づく学科構成とする。
- 入学時は2学科群（食の農学科群、緑の農学科群）ごとの募集とし、学びを維持しつつ少子化に対応するとともに、適性に応じた学科選択を可能とする。
- 全県における学科群名称、小学科名称を統一する。

※ 学校全体の学科構成 普通科、農業科、商業科、生活産業科